

令和7年度

事業計画書

一般財団法人 岩手済生医会

令和7年度 事業計画

1. 法人の概要

- (1) 名称 一般財団法人 岩手済生医会
- (2) 所在地 岩手県盛岡市長田町 24 番 7 号
- (3) 法人の設立年月日 大正 9 年 5 月 15 日 (平成 24 年 4 月 1 日 一般財団法人へ移行)
- (4) 役員及び評議員 (令和 7 年 4 月 1 日現在)

職名	氏名	職名	氏名
理事長	三田ひろみ	評議員	佐々木和彦
理事	三田光男	評議員	白井康雄
理事	三田義之	評議員	三浦廣行
理事	渡辺正和	評議員	長山洋
理事	大塚耕太郎		
理事	及川吏智子		
監事	攝待幸子		
監事	高橋俊雄		

2. 法人が設置する事業

- (1) 岩手看護専門学校 (看護師養成 明治 30 年 4 月 開設)
看護学科 1 学年定員 40 名 3 年課程
所在地 盛岡市長田町 24 番 7 号
- (2) 岩手リハビリテーション学院 (理学療法士・作業療法士養成 昭和 55 年 4 月 開設)
理学療法学科 1 学年定員 40 名 4 年課程
作業療法学科 1 学年定員 35 名 4 年課程
所在地 盛岡市長田町 15 番 16 号
- (3) 中津川病院 (内科系病院 昭和 6 年 10 月「岩手サナトリウム」開設、昭和 61 年 11 月 名称変更)
病床数 51 床 (うち地域包括ケア病床 32 床)
所在地 盛岡市下米内二丁目 4 番 12 号
- (4) 訪問看護ステーションなかつがわ (平成 29 年 11 月 開設)
所在地 盛岡市下米内二丁目 4 番 12 号
- (5) 居宅介護支援事業所なかつがわ (令和 2 年 6 月 開設)
所在地 盛岡市下米内二丁目 4 番 12 号
- (6) 三田記念病院 (精神科病院 昭和 8 年 6 月「岩手保養院」開設、平成 24 年 4 月 名称変更)
病床数 226 床 (認知症病床 60 床、精神一般病床 166 床)
所在地 盛岡市加賀野三丁目 14 番 1 号
- (7) こころの訪問看護ステーション三田 (平成 30 年 4 月 開設)
所在地 盛岡市志家町 13 番 31 号
- (8) 加賀野の里 (精神障害者グループホーム 平成 14 年 3 月 開設)
入所定員 20 名
所在地 盛岡市加賀野三丁目 14 番 10 号

3. 各施設の事業の概要

(1) 法人本部事務局

2025(令和7)年は、いわゆる団塊の世代が後期高齢者となり超高齢社会が訪れることによって、我が国の医療・福祉へ多大な影響を及ぼすことが予想されている。

一方、出生率はさらに減少し、急激な少子化によって学校教育の在り方の変革が求められている。併せて、働き手の減少対策や価値観・ライフスタイルの変化による手厚い子育て支援を行う働き方改革が必要な時代となっている。

本法人においては、岩手看護専門学校、岩手リハビリテーション学院では、少子化時代を迎えた定員確保問題及び教育の質の向上の課題を抱え、中津川病院、三田記念病院では、入院・外来の患者確保による安定した病院運営が大きな課題となっている。

法人本部事務局は、以上の課題を踏まえ時代の変化に沿った就業規則等の改正を図ると共に、5年後、10年後を見据えた「岩手済生医会の在るべき姿」について本格的な検討を開始する。

中でも急務であることは、施設・設備の老朽化が著しい中津川病院と三田記念病院を早期に統合することであり、“専門の部署”を創設して安心・安全かつコンパクトで効率的な病院運営を行うための基本設計に着手し、職員の将来への不安が増大しないよう経営改善に向け様々な改革を実施する。

教育・医療・福祉の現場である法人各施設が計画する以下にお示しした『事業計画』を、法人本部事務局が強力に支援しながら法人全体の運営及び経営改善を行っていく。

(2) 岩手看護専門学校

項目	学校全体
(I) 事業計画総括	事業目標：入学したい、入学させたい学校を目指し、卒業後看護師として採用したいと評価される学生を育てる。 ① 将来構想を確立し中長期計画を策定する ② 感染症対策の徹底と遠隔授業の円滑な運用に努め学生の学習の権利を保証する。 ③ 国家試験合格 100%を目指す。 ④ 広報活動計画を策定し、一貫した広報ができるよう改革に努める。 ⑤ 学生数の減少に伴う収益減少対策を検討する。 ⑥ 学校評価を実施し公表する。 ⑦ 授業評価を実施し公表する。 ⑧ 学校事務と教務事務の効率化のため業務の見直しを行う。 ⑨ 教務システム導入による学生情報の一元管理を行う。 ⑩ 教務システムの円滑な運用を図り業務の効率化を目指す。 ⑪ 入学試験の方法、判定方法について引き続き検討する。 ⑫ 学校施設・設備の修理修繕計画を作成する。 ⑬ 地域の避難所としての役割を果たすべくマニュアルの整備を行う。 ⑭ 新カリキュラムの構成等の見直しを行ったので、修正したカリキュラムについて適正であったか評価していく。 ⑮ 学校体験入学の開催、ホームページ・学校案内の更新等広報活動に努める。

	<p>⑯ 看護協会等主催の進学相談会等に積極的に参加し、入学生確保に努める。</p> <p>⑰ 県内中学校・高等学校の学校体験受け入れにより将来の看護職を目指す人材の確保に努める。</p> <p>⑱ 学生募集の一環として、県内の主な高等学校を訪問し入学生確保に努める。</p> <p>⑲ 業者主催・高校主催の各校での説明会・出前授業へ参加する。</p> <p>⑳ 学生教育充実のため教材・機器・図書の実を充実を図る。</p> <p>㉑ 臨地実習における教育の成果を向上させるため実習施設、実習指導者との連携を図る。また、実習指導教員を配置し臨地実習の充実に努める。</p> <p>㉒ 教員のスキルアップのため研修会、学会等に参加できる機会を設ける。</p> <p>㉓ 健診、臨床心理士の配置、予防接種等により学生・教職員の健康管理に努める。</p> <p>㉔ 必要に応じて保護者との連携を積極的に図る。</p> <p>㉕ 国家試験対策として、1年次から3年次迄一連の学習指導等を行う。</p>
<p>(II) 公益活動及び 地域支援活動 計画</p>	<p>① 「ふれあいランド祭」運営ボランティア (1年生) 令和7年9月6日(日)</p> <p>② 障がい者スポーツ大会運営ボランティア (2年生) 令和7年6月7日(土)</p> <p>③ ナイチンゲール祭ボランティア活動 令和7年9月19日(月)</p> <p>④ 関係団体への教員の派遣協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県看護教員協議会 ・日本看護学校協議会 ・岩手県看護協会 ・岩手県看護協会職能集会 ・岩手県看護実習指導者講習会 <p>⑤ 看護教員養成としての教育実習生の受け入れ協力できる環境を整える。</p> <p>⑥ 避難所としての役割を担い、地域の方々を学校教育の場への参加を促し、地域との密接な連携を図り避難所としての役割を担えるようにする。</p>
<p>(III) 各種事業予定</p>	<p>① 入学式：令和7年4月9日(水) 4月8日(火) 入学前オリエンテーション</p> <p>② 新入生オリエンテーション 令和7年4月10日(金)～14日(月)</p> <p>③ 学校見学会・Zoom 進学相談の実施 令和7年7月～9月で予定</p> <p>④ 戴帽式 10月を予定</p> <p>⑤ 第115回看護師国家試験 令和8年2月中旬</p> <p>⑥ 文集「砂丘」第66号発行</p> <p>⑦ 卒業式：令和8年3月6日(金)</p> <p>⑧ 令和8年度入学選考試験(令和7年度実績から)</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア)総合型選抜入学試験 令和7年9月 (イ)推薦入学試験：令和7年11月 (ウ)社会人入学試験1期：令和7年11月 (エ)社会人入学試験2期：令和8年2月 (オ)学士入学試験：令和7年11月 (カ)一般入学試験1期：令和7年12月 (キ)一般入学試験2期：令和8年1月 (ク)一般入学試験3期：令和8年2月 <p>⑨ 実習指導者連絡打合せ会議 (42ヶ所)</p> <p>⑩ 胸部レントゲン撮影 令和7年4月8日(火)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ⑪ 内科健診 令和7年5月29日(木) ⑫ インフルエンザ予防接種 令和7年11月19日(金)、12月3日(水) ⑬ 看護教員スキルアップ研修参加 ⑭ 日本看護学校教育学会への参加(北見 ハイブリット開催) ⑮ 岩手県看護研究学会 3年生参加 令和7年11月29日(土)オンライン開催 ⑯ 看護協会及び業者主催の進学セミナー参加(中・高生対象) ⑰ 中高生学校訪問受け入れ ⑱ 新入生保護者会の開催 令和7年4月9日(水) ⑲ ICTに対応した教材や図書資料の充実 ⑳ 臨床心理士(非常勤)の配置による学生相談の実施(1回/月) ㉑ 全学年を対象とした心理テストの実施 ㉒ 地域包括支援を理解する実習のなかで「長町まつり(仮称)」の開催と講義をお願いします。9月頃開催の予定。

(3) 岩手リハビリテーション学院

項目	学院全体
(I) 事業計画総括	<ul style="list-style-type: none"> ① 指定規則の改正ならびに4年制課程のカリキュラムに対応するため、実習用機器の更新及び新規導入を年次計画に基づき推進し、教育環境を整備する。 ② 現学則についてカリキュラム等の検証を行い、令和8年度の学則改正に向けて準備する。 ③ 学生の学修意欲を高め、学力向上を図るための学修支援を行う。 ④ 入学志願者確保のため高校訪問の実施、進学説明会への参加等の広報活動を行う。 ⑤ 教員・臨床実習指導者の質向上を図るための活動を行う。 ⑥ 学校評価(自己評価・学校関係者評価)を行い、教育の質の向上を図る。 ⑦ 学校施設のトイレ整備として、便器を和式から洋式へ改修する工事を行う。
(II) 各種事業予定	<ul style="list-style-type: none"> ① 入学式 令和7年4月10日(木) ② 卒業式 令和8年3月5日(木) ③ 学院見学説明会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 令和7年6月28日(土) 第2回 令和7年7月26日(土) 第3回 令和7年11月1日(土) 第4回 令和8年2月14日(土) ④ 外部業者主催の進学説明会への参加 ⑤ 高校訪問の実施 ⑥ 令和8年度入学試験 <ul style="list-style-type: none"> 総合型選抜(第1日程) 令和7年9月6日(土) 社会人総合型選抜(第1日程) 令和7年9月6日(土) 学校推薦型選抜(公募推薦) 令和7年10月11日(土) 学校推薦型選抜(指定校推薦) 令和7年10月11日(土) 総合型選抜(第2日程) 令和7年11月15日(土) 社会人総合型選抜(第2日程) 令和7年11月15日(土)

社会人一般選抜 前期一般選抜 後期一般選抜 ⑦ 健康診断 ⑧ 予防接種 B型肝炎（1学年対象） インフルエンザ（全学年対象） ⑨ 学校評価の実施	令和7年12月 6日(土) 令和7年12月 6日(土) 令和8年 2月 7日(土) 令和7年 4月、5月、7月 令和7年 5月、6月、10月 令和7年11月 令和7年 5月～7月
--	---

項目	理学療法学科（4年課程）
(I) 事業計画総括	① 学生が就職を意識し、学修の目的意欲を継続できるための教育体制を整え、実施する。 ② 効果的学修の提供を実践するため教員の増員を図る。 ③ 学生の就職意識ならびに学修意欲を高揚させるためのイベントを開催する。 ④ 学生の学力向上を図るため学生指導や授業内容を検討し、教育内容の充実を図る。 ⑤ 学生教育充実のため教材教具・機器・図書の実施を図り、学修方法の検討を継続する。 ⑥ 学生の自主的学修を進めるため学年間の垣根を取り払った協働学習機会を実施する。 ⑦ 臨床実習教育の充実ならびにカリキュラムを効果的に進めるための実習施設確保と拡大に努める。 ⑧ 臨床実習教育の向上を図るため実習指導者会議や施設訪問を行い、実習施設及び指導者の理解と協力を得られるように努める。 ⑨ 臨床実習指導者講習会を開催し、実習指導者の育成に努める。 ⑩ 学生の臨床対応能力向上に資するイベントをカリキュラムならびに学科事業へ設置する。 ⑪ 理学療法士国家試験合格者向上に向けた取り組みを行う。 ⑫ 学年間相互の交流ならびに学修意識高揚のためにイベントを実施する。 ⑬ 入学生確保のため中学ならびに高等学校への訪問と中・高校生に対する学科の特徴をアピールするとともに、学院見学説明会への参加機会を失った高校生への対応を強化する。 ⑭ 入試制度を検討し、入学志願者の確保に努める。 ⑮ 教員の能力向上を図るため研修会や学会への参加機会を設ける。
(II) 各種事業予定	① 学生オリエンテーション（1～4年） 令和7年 4月 ② 保護者等対象オリエンテーション（1・3・4年） 1年生：令和7年 4月 10日(木) 4年生：4月 24日(木) 3年生：10月 17日(金) ③ 施設団体見学（1年） 令和7年 6月 10日(火) ④ 臨床実習 臨地実習（1年） 令和7年 9月24日(水)～ 9月30日(火) 地域理学療法導入実習（2年） 令和7年10月15日(水)～10月21日(火) 評価実習（3年） 令和7年11月 4日(火)～11月28日(金) 総合実習（4年） 令和7年 5月12日(月)～ 7月 2日(水) 令和7年 7月28日(月)～ 9月17日(水)

	<p>地域理学療法実践実習（4年） 令和7年4月19日(土)～4月24日(木)（デイサービス） 令和7年10月27日(月)～10月30日(木)（訪問リハ施設）</p> <p>⑤ 実習指導者会議 臨地実習（1年）・地域理学療法導入実習（2年） 令和7年7月31日(木) 評価実習（3年） 令和7年9月18日(木) 総合実習（4年） 令和8年3月19日(木)</p> <p>⑥ 臨床実習指導者講習会の開催 令和7年9月20日(土)、21日(日)</p> <p>⑦ 第61回理学療法士国家試験に向けた取り組み</p> <p>⑧ 就職啓発ガイダンス（3年～4年） 令和7年4月11日(金)</p> <p>⑨ 就職説明会 令和7年7月5日(土)・9月29日(月)</p> <p>⑩ 学科説明会 令和7年8月23日(土)・令和8年3月25日(水)</p> <p>⑪ 障がい者スポーツ大会参加 令和7年6月（希望者）・10月19日（1年生全員）</p>
--	--

項目	作業療法学科（4年課程）
(I) 事業計画総括	<p>① 受験生の確保に努める。</p> <p>② 教育内容の質の向上を図る。</p> <p>③ 臨床実習の充実に努める。</p> <p>④ 臨床実習地の確保に努める。</p> <p>⑤ 就職支援に努める。</p> <p>⑥ 学生等相談支援に努める。</p> <p>⑦ 教員の質の向上に努める。</p> <p>⑧ 卒業後支援に努める。</p> <p>⑨ 保護者等との協力体制の充実。</p>
(II) 各種事業予定	<p>① 作業療法学科学生対象オリエンテーション（毎年開催） 定例 4月（学年毎に実施） ※必要に応じては随時開催</p> <p>② 保護者等対象オリエンテーション（全学年ごとに実施） 1年生 令和7年4月10日(木) 2年生 令和7年5月16日(金) 3年生 令和7年5月9日(金) 4年生 令和7年4月5日(土)</p> <p>③ 臨床実習 1) 臨床見学実習 令和7年9月24日(水)～9月30日(火) 2) 短期実習 I 令和7年9月4日(木)～9月18日(木) 3) 地域作業療法学実習 令和7年5月12日(月)～5月16日(金) 4) 短期実習 II 令和7年10月2日(木)～10月30日(木)</p>

	<p>5) 総合実習 I 令和 7 年 4月30日(水)～ 6月26日(木)</p> <p>6) 総合実習 II 令和 7 年 7月22日(火)～ 9月22日(月)</p> <p>④ 実習指導者会議</p> <p>1) 総合実習、地域作業療法学実習 令和 8 年 3月24日(火)</p> <p>2) 臨床見学実習、短期実習 I・II 令和 7 年 8月 8日(金)</p> <p>3) 臨床実習後指導者会議 令和 7 年11月28日(金)</p> <p>⑤ 臨床実習指導者講習会の補助 2 回予定 岩手県作業療法士会との合同開催</p> <p>⑥ 就職説明会 4 年対象 令和 7 年 7月 5 日(土)・9月 29 日(月)</p> <p>⑦ 卒業生懇談会</p> <p>1) 1 年生 令和 7 年 5 月 17 日(土)</p> <p>2) 2 年生 令和 7 年 7 月 12 日(土)</p> <p>3) 3 年生 令和 7 年 6 月 14 日(土)</p> <p>⑧ 学科会議 3 回/月</p> <p>⑨ 学科 FD 会議の充実 月 1 回開催予定 (合計 12 回)</p> <p>⑩ 高校訪問の実施 北東北 3 県(岩手、青森、秋田)</p> <p>⑪ 進学相談会への参加</p> <p>⑫ 個別相談の実施 Zoom を利用しての進学相談を実施 平日対応 (事前連絡要する: 1 週間前)</p> <p>⑬ 地域研究事業 長田町第 2 町内会支援 (盛岡駅西口地域包括支援センター共同事業)</p> <p>⑭ 作業療法普及啓発活動 認知症サポーター養成講座 ※青山和敬荘地域包括支援センター事業 小学 4 年生対象</p> <p>①盛岡市立青山小学校 ②盛岡市立厨川小学校 ③盛岡市立月が丘小学校 ④盛岡市立大新小学校</p>
--	--

(4) 中津川病院

<p>(I) 事業計画総括</p>	<p>① 令和 6 年度は、コロナ禍による外来・訪問診療における診療体制には影響は殆どなかったが、入院においては他医療機関においても入院患者の減少に伴い入院患者の紹介数が少なかった。また、7 月と 2 月には新型コロナウイルス感染症のクラスターにより入退院調整の制限があった。令和 7 年度は、運営を軌道に乗せるため急性期病院や近隣のクリニックからの受入病院としての信頼を</p>
-----------------------	--

	<p>得ている状況を更に強化・継続し、年間を通して1日平均35～38人の入院患者確保に全力を尽くす。また、診療単価の高い地域包括ケア病床を活用して、直接入院及び在宅への復帰率を増やし在宅患者への訪問診療・訪問リハビリの件数増に繋げる。更に訪問看護ステーションなかつがわや居宅介護支援事業所なかつがわとの連携強化に努め、相乗効果による増収を図る。</p> <p>② 社会福祉法人岩手和敬会及び近隣の社会福祉施設や新たな施設の開拓と他の医療機関とも良好な関係を深め、患者数の増加に努める。</p> <p>③ 地域との連携、地域の施設・病院・開業医等の理解を得るための取り組みを強化する。</p> <p>④ 公益活動として看護学生の実習及び中学校の職場体験、高校生等のふれあい看護体験等の受入を継続する。</p> <p>⑤ 施設・設備が老朽化しているが、設備修繕の経費やメーカー保証期間が満了している装置等の更新は最小限に努める。</p> <p>⑥ 現在の建物は、老朽化はもとより水害や裏山の崩落等危険地域に指定されているため、三田記念病院との統合も視野に今後の在り方について引続き検討を行う。</p>																		
<p>(II) 医療収入事業 計画</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日平均患者数</th> <th>1日平均単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 入院収入</td> <td>38人</td> <td>35,270円</td> </tr> <tr> <td>② 外来収入</td> <td>25人</td> <td>6,228円</td> </tr> <tr> <td>③ 在宅収入</td> <td>1日件数(月件数)</td> <td>1件平均単価</td> </tr> <tr> <td> 訪問診療</td> <td>19件(382件)</td> <td>26,080円</td> </tr> <tr> <td> 訪問リハビリ</td> <td>14件(282件)</td> <td>3,352円</td> </tr> </tbody> </table>		1日平均患者数	1日平均単価	① 入院収入	38人	35,270円	② 外来収入	25人	6,228円	③ 在宅収入	1日件数(月件数)	1件平均単価	訪問診療	19件(382件)	26,080円	訪問リハビリ	14件(282件)	3,352円
	1日平均患者数	1日平均単価																	
① 入院収入	38人	35,270円																	
② 外来収入	25人	6,228円																	
③ 在宅収入	1日件数(月件数)	1件平均単価																	
訪問診療	19件(382件)	26,080円																	
訪問リハビリ	14件(282件)	3,352円																	

(5) 訪問看護ステーションなかつがわ

<p>(I) 事業計画総括</p>	<p>① 地域の居宅、包括、施設及び開業医等からの依頼を受けて地域での役割を果たす。さらに中津川病院や居宅支援事業所なかつがわとの協働により、在宅復帰の促進、看取りを含めた退院支援の推進により、利用者数を確保する。</p> <p>② 地域との連携のため、地域ケア会議など地域での役割遂行から、訪問看護ステーションの周知と紹介利用者の増加につなげる。</p> <p>③ 公益活動として看護学生の在宅実習や看護協会事業等、積極的に受け入れを行う。 診療報酬改定に合わせた安全に事業が継続できる体制を構築する。</p> <p>④ ICT化による業務効率を向上し、ペーパーレスに特化した運用を遂行していく。</p> <p>⑤ 計画的な研修計画の基、質の高い医療の提供とサービス向上に努める。</p> <p>⑥ 認定看護師が地域で活躍できる仕組み、運用方法を構築する。</p> <p>⑦ 将来の三田記念病院との統合を見据えた訪問看護ステーションとしてのニーズを模索し、医療、介護面の提案を行う。</p>						
<p>(II) 医療収入事業 計画</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日平均件数(月件数)</th> <th>1日平均単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護</td> <td>18件(362件)</td> <td>9,677円</td> </tr> </tbody> </table>		1日平均件数(月件数)	1日平均単価	訪問看護	18件(362件)	9,677円
	1日平均件数(月件数)	1日平均単価					
訪問看護	18件(362件)	9,677円					

(6) 居宅介護支援事業所なかつがわ

<p>(I) 事業計画総括</p>	<p>① 本事業所は令和2年6月1日に設置し、介護支援専門員（ケアマネージャー）1名体制でケアマネージャーの付いていない患者の要介護認定の申請等の業務を行ってきた。令和6年4月より1名増員となったことで、更なる利用者獲得に努めていく。</p> <p>② 中津川病院の入院患者が退院後在宅の要介護や要支援等適切な居宅サービス又は施設サービスを利用できるよう、地域医療連携室や訪問看護ステーションなかつがわ、中津川病院訪問リハビリとの連携を強化する。</p> <p>③ 浅岸和敬荘地域包括支援センターと連携し、地域包括システムの推進に努める。要支援認定者における地域包括支援センターからの委託契約依頼に対応する。</p> <p>④ 盛岡市からの認定調査依頼に対し積極的に対応する。</p> <p>⑤ ICT 機器を活用し業務の効率化を図るとともに、AI を使用することでプラン作成の効率化を図る。</p>									
<p>(II) 医療収入事業 計画</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1月平均人数</th> <th>1人平均単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険利用者</td> <td>70人</td> <td>11,340円</td> </tr> <tr> <td>その他、介護予防利用者</td> <td>10人</td> <td>3,942円</td> </tr> </tbody> </table>		1月平均人数	1人平均単価	介護保険利用者	70人	11,340円	その他、介護予防利用者	10人	3,942円
	1月平均人数	1人平均単価								
介護保険利用者	70人	11,340円								
その他、介護予防利用者	10人	3,942円								

(7) 三田記念病院

<p>(I) 事業計画総括</p>	<p>① ダウンサイジングによる病棟再編と外来リハビリ部門の充実</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、全国的に病院の入院患者数は減少傾向が続いており、在院患者の高齢化、長期入院患者に係る死亡退院の増加がその原因のひとつとなっている。</p> <p>当院は、患者の地域移行を推進する国の施策に沿い、国の補助金を活用して病床数の削減及び再編を行い、病床削減で得られる人員や施設を活用した新たな診療体制を構築して、経営改善を図る。</p> <p>また、外来リハビリ部門の充実を図り、デイケアやこころの訪問看護ステーション三田との協働体制を強化することで患者の地域生活を支え、良質な医療を提供して増患を図る。</p> <p>② 中津川病院との統合に向けた具体的計画の立案</p> <p>新型コロナ禍後は患者数の大きな回復が見込めないことから、精神科病院の当院と内科・リハビリ科病院である中津川病院の統合により、合併症にも対応する病院として、地域貢献ができ、安定した医療収入を確保する新病院の体制を検討する。</p> <p>統合に向け、中津川病院、法人本部と協力して財政の改善を図るための新たな組織を立ち上げ、具体的な計画に着手する。</p> <p>③ 職員が働きやすい環境の整備</p> <p>職員が安心・安全に働けるようハラスメント及び虐待の防止に努めると共に、病棟内カメラの更新等による職場環境の整備を行う。</p>
-----------------------	---

	④ 栄養科部門の効率化とコスト削減の検討 近年、食材費の高騰、人材不足、人件費の上昇、衛生管理の厳格化など、病院栄養部門には多数の課題があり、将来展望を踏まえ業務の効率化と収支の改善の検討をコンサル会社に依頼し業務改善を行う。	
(II) 医療収入事業 計画	1日平均患者数	1日平均単価
	① 入院収入 216人	17,200円
	② 外来収入 82人 (デイケア含む)	6,870円

(8) こころの訪問看護ステーション三田

(I) 事業計画総括	<p>① 収入の安定化 新規依頼者数が前年度比で増加しており、三田記念病院や関係機関との連携を密に行い、新規利用者の増加に努め、収入の安定を図る。</p> <p>② 診療報酬改定に基づく業務の遂行 診療報酬改定に伴い義務化された業務継続計画（BCP）の訓練、虐待防止及び感染対策の委員会や研修を引き続き行い、訪問看護の提供を継続的に実施できるよう備える。 算定している各項目について、要件を満たすよう確認を引き続き行い、東北厚生局等への届出対応を行う。</p> <p>③ 職場環境の整備及び人材の確保 既存の訪問看護システムのクラウドバージョンを導入したため、引き続き訪問看護業務の効率化や見直しを行い、職員が安定して働けるよう職場環境を整備する。また、ハローワーク、職能団体等を活用した職員募集や三田記念病院と協働し看護師等の人材確保に努め、事業運営の安定化を図る。</p> <p>④ 訪問看護の質の向上 訪問看護業務の質の向上を図るため、各種研修会や学会へ参加機会を設ける。また、利用者の心身の状態やニーズに応じた訪問看護の提供に努める。</p> <p>⑤ 学生実習の受け入れを継続する。</p>	
(II) 医療収入事業 計画	1日平均件数（月平均件数）	1件平均単価
	訪問看護 28.8件（583件）	16,300円

(9) 加賀野の里

(I) 事業計画総括	<p>① 収入の安定 昨年度は、入院者・退居者が多く、平均利用者数が17名台であり過去最少であり収入にも影響した。今年度は、退居後の新規利用を迅速に行ない、収入の安定を図る。また、家賃等の値上げを行なう。</p> <p>② 介護サービス包括型への移行 外部サービス利用型から介護サービス包括型に移行し、支援区分3以上の利用</p>	
---------------	---	--

	<p>者に対し介助等の支援を増やして、報酬単価を高く算定する。区分に応じた支援を行なう。</p> <p>③ 高齢となった利用者の施設等移行 高齢となった利用者に対して、高齢者施設等への移行を促進する。</p> <p>④ 法令順守した管理運営 義務化となっている研修や訓練、委員会等を滞りなく行なう。</p> <p>⑤ 1階廊下に手すりの設置 1階に身体不自由な利用者が住んでいるため、廊下に手すりを設置する。</p>
<p>(II) 各種事業予定</p>	<p>① 委員会、会議等 運営会議（年6回）、感染対策委員会（年4回） 虐待防止委員会（年1回以上）、身体拘束適正化委員会（年1回以上） 地域推進会議（年1回会議、年1回見学会）新設</p> <p>② 職員研修会等 （内部）職員虐待防止・身体拘束適正化・感染対策・感染BCP訓練 災害BCP訓練・AED研修 （外部）虐待防止研修・苦情解決研修・世話人研修・差別解消法研修</p> <p>③ 行事 お花見会・清涼会・芋の子会・クリスマス会</p> <p>④ その他 感染症発生時対応訓練（年2回） 病院主催の感染症研修会または訓練に参加（年1回以上） 避難訓練（年2回）、家族へお便り（年2回） 入居者アンケート（年1回）、蛍光灯LEDへの移行</p>